

萩市における地域連携教育

ひとづくりと地域づくりの
好循環の創出をめざして

～萩市の「志教育」を中心に～

萩ならではの「志教育」の推進の歩み

令和3年度から令和5年度

- すべての学校をコミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育校に指定
- 学校・地域連携カリキュラムのブランディング
- 小・中学校と高校が一体となった志教育の推進

平成30年度から令和2年度まで

- 萩市ひとづくり構想
- 萩市ひとづくり推進計画（R2～R9）

平成22年度から平成29年度まで

- 志教育の推進 萩・農家村塾事業、子育て科カリキュラム
- コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の研究

平成16年度から平成21年度まで

- 拠点校「コアスクール構想」
地域や学校の特色を鮮明にした教育の推進
「私たちの学校は〇〇に取り組みます」という宣言を発信（志を育むキャリア教育）。

- 令和5年度 すべての学校を小中一貫教育校に指定

- 遠隔交流授業研究
- 学校・地域連携カリキュラムのブランディング（地域の魅力・発信／学校紹介動画の制作）
- 中学校部活動の地域移行

- 新しい時代を切り拓くひとづくり
創造・挑戦・協働

- すべての学校 普通教室にエアコン設置
- 一人一台タブレット端末
- 新型コロナウイルス パンデミック

- 平成24年 須佐中 CSに指定
- 平成25年 椿東小 CSに指定
- 平成26年 萩東中 CSに指定

- 平成27年 人口減少の中で、ICTを活用したテレビ会議システム
- 平成28年 全校CS、萩市立小中一貫教育校 福栄小中学校 県内初

- 平成17年 田万川中がコミュニティ・スクール（全国5番目）
- 平成18年 椿西小がコミュニティ・スクール（全国8番目）
- 学校支援地域本部事業（6か所）

新しい時代を切り拓くひとづくり

創造 ・ 挑戦 ・ 協働

視点

持続可能な社会の創り手の育成＋ウェルビーイング

地域の魅力発信
プロジェクト

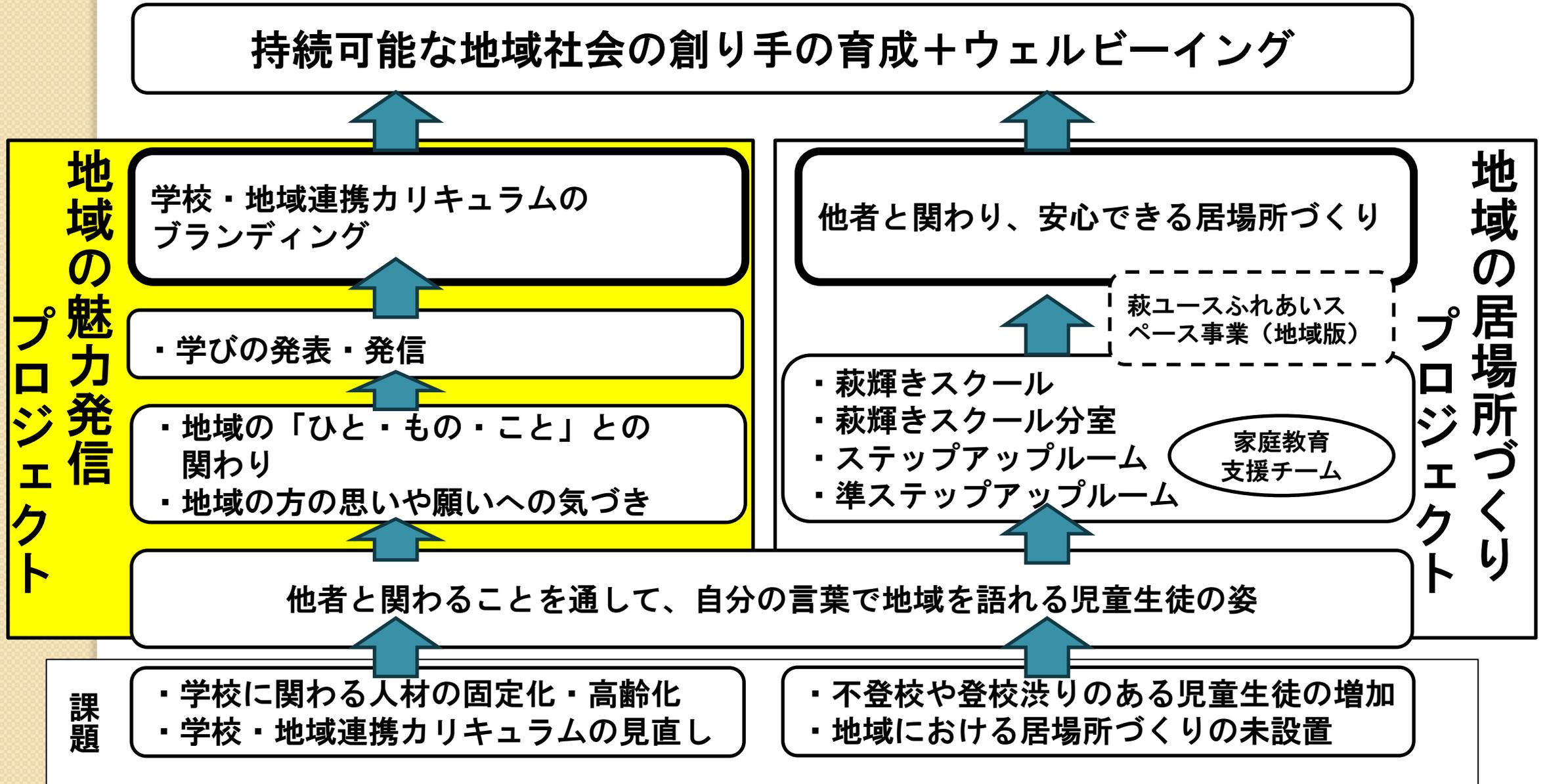
地域の居場所づくり
プロジェクト

これまでの地域連携
教育の取組の分析

その地域ならではの、
ここでしか学べないこと

学校・地域連携カリキュラムのブランディング

萩市が考える地域連携教育の推進



「萩大島ふるさと創造科」で目指すこと
9年間を通して萩大島をフィールドに系統性・連続性をもって教科横断的に学ぶことを通じて、将来どんな環境においても、自分らしく前向きに生き抜くことのできる人材を育成する。

「萩大島ふるさと創造科」全体構想図

ふるさとの未来を創る人材を育てる

※「グローバルに通用する資質・能力を備えた人材」

学校教育目標：ふるさと大島に誇りをもち、志をもってたくましく生きる児童生徒の育成。

＜身に付けさせたい資質能力＞
他者に働きかける力 自己の役割の理解
課題発見、計画立案、実行力
学ぶこと・働くことの意義や役割の理解



ふるさと大島学習

(よりよい萩大島の未来を創造するために)

小中縦割り班によるプロジェクト型学習

萩大島の里海 (漁業・海)	萩大島の里山 (農業・環境)	萩大島の伝承 (伝統・歴史・文化)	萩大島の未来創造人 (新たな取組の創造)
------------------	-------------------	----------------------	-------------------------

漁業・海の幸体験学習 → 三世代交流クリーン作戦 → 文化祭

ペーロン大会 → 地域の先輩に学ぶ → 地域の行事

学びのフィールド

萩大島

キャリア・パスポート

生き方学習

(よりよい未来の自己実現を目指して)

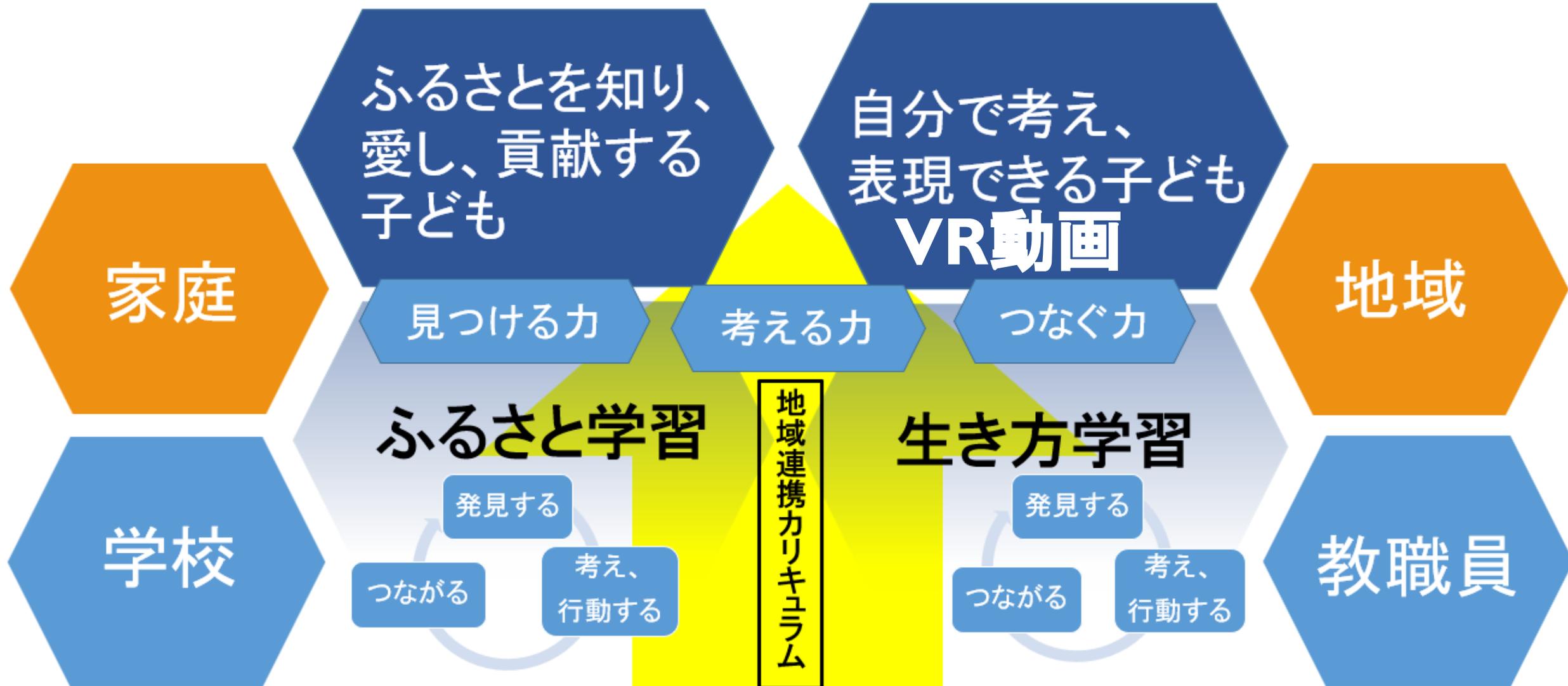
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学校探検 ふるさと探検 わたしの成長	働く人 ふるさと探検 成長アルバムづくり	二分の一成人式に向けて ふるさとを知る	二分の一成人式 ふるさとを知る	卒業活動 修学旅行 卒業生へ	卒業活動 修学旅行 卒業生に向けて	職業見学 自己理解 生徒会活動 校外学習	職業体験学習 立志式 生徒会活動 校外学習	進路学習 面接に向けて 生徒会活動 修学旅行

食育、健康管理、規則正しい生活、坂道登下校、
バスケットボール、バレーボール、地域でのラジオ体操

～須佐地域魅力再発見プロジェクト～

平成31年度～

ふるさとと須佐を誇りに思い、志高く、チャレンジし続ける育英っ子・生徒の育成



現状：○地域が協力的 ○豊富な地域資源 ▲表現力・コミュニケーション能力 ▲伝統文化の後継者

R5 「子どもが地域の先生プロジェクト」 むつみ小

【チャレンジポイント】

ともに学び、関わることを重ねることが、地域の活性化や自分の成長につながることを実感できる

【めざす児童の姿】

地域のために貢献できたことを実感し、さらに、主体的に考え、行動することができる

【めざす大人の姿】

学校とともに、子どもたちの主体性を育てようとする意識が高まる



1・2年生 人とつながろう



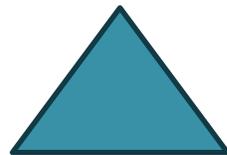
3・4年生 蔵目喜川を知らせたい！



5・6年生 お米のよさを広めよう！！

地域の魅力発信プロジェクト

学校・地域連携カリキュラムのブランディング



地域住民との熟議



地域住民と活動



学びを地域へ
発表・発信

熟議の中にある児童生徒・
保護者・地域住民の思いや
願い、アイデア



熟議で話し合われたことが、
学校・地域連携カリキュラム
に反映



教職員だけでなく、地域住民も
学校・地域連携カリキュラムへ
気づきの書き込み（修正へ）

萩市が考える地域連携教育の推進

持続可能な地域社会の創り手の育成＋ウェルビーイング

地域の魅力発信
プロジェクト

学校・地域連携カリキュラムのブランディング

・学びの発表・発信

・地域の「ひと・もの・こと」との関わり
・地域の方の思いや願いへの気づき

他者と関わることを通して、自分の言葉で地域を語る児童生徒の姿

課題
・学校に関わる人材の固定化・高齢化
・学校・地域連携カリキュラムの見直し

地域の居場所づくり
プロジェクト

他者と関わり、安心できる居場所づくり

萩ユースふれあいスペース事業（地域版）

・萩輝きスクール
・萩輝きスクール分室
・ステップアップルーム
・準ステップアップルーム

家庭教育支援チーム

・不登校や登校渋りのある児童生徒の増加
・地域における居場所づくりの未設置

「やまぐちCS」3つの機能

2 学校運営

- 学校を開き、組織を開き、授業を開きます。
- 教職員が変わっても揺るがない学校をつくれます。
- 他の学校が真似したいと思えるような、わくわくする取組を行います。
- いじめ、不登校など学校の課題の解決に、地域と一緒に取り組みます。

「やまぐちコミュニティ・スクール」
(平成27年3月 山口県教育委員会)

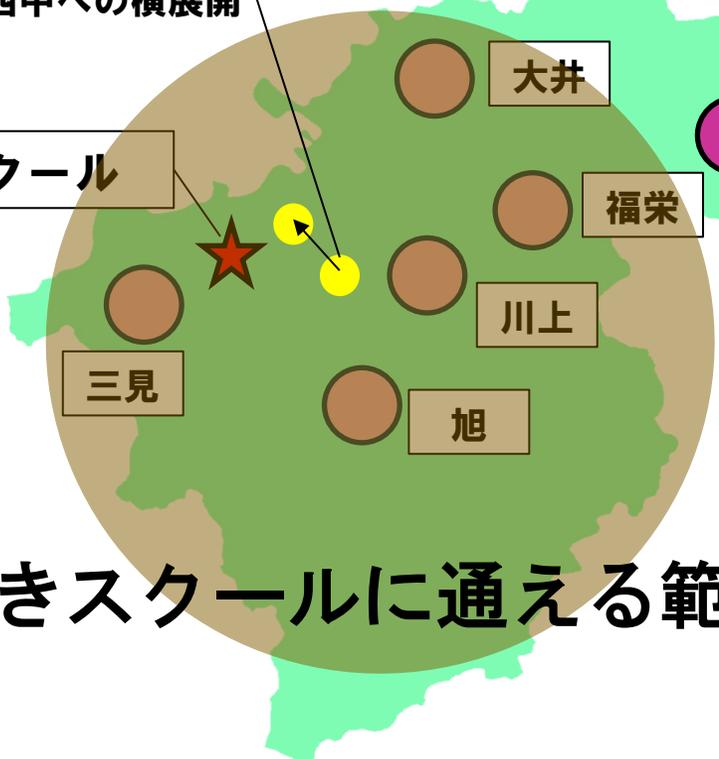
萩市の不登校における現状

ステップアップルーム

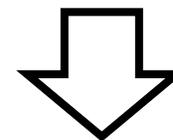
萩東中から萩西中への横展開

萩輝きスクール

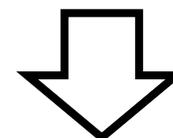
萩輝きスクールに通える範囲



萩輝きスクールに通うことが困難かつ
地域に家庭以外の居場所がない地域



萩輝きスクール分室の設置
＝地域における居場所を確保



田万川・須佐・むつみ地域で、不登校
児童・生徒ならびにその保護者の支援
を行う。

「地域の居場所づくりプロジェクト」

支援体制の
充実

支援方法の
検討

地域への
展開

家庭教育
支援チーム

＜支援方法の検討＞
児童生徒への支援方法
保護者への支援、相談体制 等

＜実践の検証＞
成果と課題の検証
不登校児童生徒を抱える
地域での体制づくり

「地域の居場所づくりプロジェクト」

支援体制の
充実

支援方法の
検討

地域への
展開

家庭教育
支援チーム

保護者カフェ

ぎゅっとサロン

ご清聴ありがとうございました



今も昔も志高く！